

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-228572(P2010-228572A)

【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2009-77959(P2009-77959)

【国際特許分類】

B 6 2 J 1/28 (2006.01)

B 6 2 J 23/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 1/28 C

B 6 2 J 23/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月2日(2011.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

そして、リアグリップ28の上方からアッパリアカバー86を被せ、アッパリアカバー86と左右ロアリアカバー87L, 87Rとを合わせ、各締結部で固定する。詳細には、リアグリップ28の後部ステー91Bに、左右ロアリアカバー87L, 87Rの後部固定孔92Aとアッパリアカバー86の後部固定孔102Aとを合わせて、固定ネジ32によって後部固定孔92A及び後部固定孔102Aを後部ステー91Bに共締めする。また、左右ロアリアカバー87L, 87Rの中間部固定孔92Bと、アッパリアカバー86のカバー固定部102Bとを、カバー連結ネジ37によって締結する。さらに、リアグリップ28の前部ステー91Aに、左右ロアリアカバー87L, 87Rのロアカバー側固定部92Cとアッパリアカバー86のアッパリアカバー側固定部102Cとを合わせて、ボルト40によってロアカバー側固定部92C及びアッパリアカバー側固定部102Cを前部ステー91Aに共締めする。これにより、リアグリップ28と左右ロアリアカバー87L, 87Rとアッパリアカバー86とテールライト67とが一体に組付けられたリアカバーアッセンブリー体110(図4参照)が組み立てられる。ここでは、リアカバーアッセンブリー体110にはテールライト67が組み付けられているものとして説明したが、テールライト67は後で組み付けられても良い。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

その後、リアカバーアッセンブリー体110を、シートレール19のグリップ固定ブロック19B及びクロスメンバ19Aに固定ボルト15を介して固定することにより、リアカバー85を車体に組付けることができる。

このように、リアカバー85では、後部固定孔92Aと後部固定孔102Aとを締結する部分に後部ステー91Bを共締めし、前部ステー91Aにおいてもロアカバー側固定部92Cとアッパリアカバー側固定部102Cとを前部ステー91Aに共締めしたため、締

結箇所を低減できるとともに、リアカバー 85 とリアグリップ 28 を一体に組付けたり
アカバーアッセンブリー体 110 を構成できる。